

第4号議案 2024年度事業計画

1. 総務委員会

総務委員会は、理事会の下で各委員会と協力して学会活動を円滑に進めていきます。今年度の主要な活動計画は以下の通りです。

1) 財政

収入の維持・増加のために会員増強活動として、シンポジウムやフォーラム等の収支バランスを改善と各種媒体での告知を行い、非会員の参加者数の増加を促進することで、各行事の黒字化を目指します。また、事業内容の見直しも含め、財政の健全化を実施します。

2) 会員増強

関連委員会との協力の下に会員増強を進めます。春季、秋季の信頼性シンポジウム、フォーラム、見学会および研究会等の活動を活発に行います。特に、フォーラムや見学会では、時代のトレンドを捉えたテーマや見学内容を選定し、本学会の魅力を高めていきます。また、非会員の参加者数の増加を含め、本学会の存在を広く認知させます。

3) フォーラムおよび見学会の実施

会員のニーズに沿う、かつ新規会員の獲得に貢献できるような本部主催のフォーラムおよび見学会を実施します。フォーラムについては、引き続きハイブリッド開催を行います。オンライン参加の方との質疑とその回答の記録など、より良い実施方法を検討いたします。

4) 関係学会等との協力

新規会員の獲得、会員の発表および情報収集の場の提供のため、関係学会等との協力を行います。

安全工学シンポジウム 2024 および 2025 の開催準備に参画します。また、第 15 回および第 16 回の横幹連合コンファレンスに参画します。また、電子情報通信学会と IEEE Reliability Society Japan Chapter と協力し、信頼性研究会等を開催します。

5) 国際交流

2024 年 7 月に中国・黒龍江省・ハルビン市にて開催予定の、The 14th International Conference on Quality, Reliability, Risk, Maintenance, and Safety Engineering (QR2MSE2024) に協賛いたします。本学会からは、土肥正氏(元会長)が Honorary Chair, 早川有会長, 井上真二氏, 金路氏, 田村慶信氏, Xiao Xiao 氏が Technical Program Committee Member として参画し、国際会議の盛会にむけて支援いたします。

2024 年 8 月に名古屋で開催予定の、The 11th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling (APARM2024) に協賛いたします。本学会からは、岡村寛之氏が General Chairs, 木村充位氏が Program Chairs, 南野友香氏が Publicity Chairs, 田村慶信氏, 太田修平氏, 周蕾氏が Web Chairs, 水谷聡志氏が Local Organization Chairs, 井上真二氏, Xiao Xiao 氏が Publication Chairs, 鄭俊俊氏が Conference Secretirats として参画し、国際会議の盛会にむけて支援いたします。

2024 年も韓国信頼性学会との連携した活動を実施いたします。2024 年 6 月に韓国・済州島で開催予定の KRS Spring Symposium に中村英夫氏(元会長), 早川会長, 木村副会長, 高橋聖氏, 周蕾氏が参加します。

また、2024年度も若手学会員を対象に、海外で開催される国際会議にて講演するための渡航費用等を補助するための国際交流助成金の募集をいたします。

2. 広報委員会

2024年度は対面も併用したハイブリッド型の希望が増えると予想されることから、すでに購入済みの機材等を活用して、効果的に運用できるよう検討いたします。シンポジウムのマルチセッションなど、Microsoft Teams の機能を有効活用することも検討いたします、発行済学会誌に掲載済み論文等のオンライン公開（J-Stage）作業を進めます。

3. 編集委員会

編集委員会で検討した2024年度の年間計画（案）を下表に示します。会員サービスの向上に向けて、継続的に記事・企画の模索ならびにコラム欄の活用なども検討・実施して参ります。特に、経産省の標準化担当部門と連携し、「国際規格・標準化」と技術に関して議論展開するコラム掲載を検討します。

発行年	発行月	種類	内容・テーマ
2024年	4月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載）
	5月号	展望	実装における信頼性（タイトル変更の可能性あり）
	6月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載予定）
	7月号	展望	検討中
	8月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載予定）
	9月号	展望	検討中
	10月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載予定）
	11月号	展望	検討中
	12月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載予定）
2025年	1月号	展望	検討中
	2月号	ニュース	信頼性ニュース（学会ホームページに掲載予定）
	3月号	展望	検討中

4. 論文審査委員会

2024年度の計画を以下に示します。

- ・2024年度は8編以上の論文投稿の受付、5編以上の論文掲載を目標といたします。
- ・高木賞候補論文の選考を行います。
- ・研究分野の拡大に対応して、より多くの論文が投稿されるように、引き続き投稿推奨の方策について検討します。
- ・信頼性学会誌からより有効な情報・優れた論文の発信を目指し、掲載論文数の増加を図ります。そのため、論文投稿後の審査員の決定、審査期限の厳格化などを含めて審査プロセスの迅速化を実現する方策について検討します。

5. シンポジウム実行委員会

第32回春季信頼性シンポジウム（一般発表）を2024年6月18日に対面とオンラインを併用するハイブリッド形式で開催する予定です。開催準備と運営、発表者との接続確認、プログラムの編成等を行う予定です。第37回秋季信頼性シンポジウム（特別講演および一

般発表)及び第33回春季信頼性シンポジウム(特別講演および一般発表)の開催準備,各シンポジウムの優秀賞と若手奨励賞の選定を行います。なお,シンポジウム当日は,会場設営,シンポジウム運営及びセッションの司会を務めます。

- ・第32回春季信頼性シンポジウム(2024年6月18日ハイブリッド開催予定)
- ・第37回秋季信頼性シンポジウム(日時・場所・特別講演:未定)
- ・第33回春季信頼性シンポジウム(日時・場所・特別講演:未定)

6. 研究会運営委員会

研究会活動を活性化し,成果に結びつけるため,以下の活動を継続して実施します。また,研究会の新設を支援していきます。

- ・研究会の開催案内や活動状況の紹介(学会ホームページや学会誌)
- ・研究会活動の成果発表を推進
 - －春季・秋季信頼性シンポジウム
 - －信頼性フォーラム
 - －学会誌
 - －日科技連信頼性・保全性・安全性シンポジウム
 - －安全工学シンポジウム

など

各研究会の2024年度活動計画は以下の通りです。

1)安全学研究会(主査:柴垣光男【第1種】)

(1)活動内容

各分野における安全のための固有技術,原理,原則等を,分野を越えて共通するものと各分野に固有のものに類型化,体系化することによって,安全学の発展に資することを目指して議論を展開します。

(2)計画

4回(4月,7月,10月,1月)の研究会の開催を予定しています。

(3)発表

秋季信頼性シンポジウムでの活動報告を検討します。

2)信頼性試験研究会(主査:松岡敏成氏)【第2種】

(1)活動内容

- ・チュートリアルによる信頼性試験計画の基礎学習の継続を進めます
- ・昨年度からの継続で,システムレベルの信頼性試験の検討を進めます

(2)計画

年6回(4月,6月,8月,10月,12月,2月)の開催を予定しています

(3)発表

- ①研究会の研究テーマ(システムレベルの信頼性試験)に関連した講演会を提案
- ②関西支部信頼性フォーラム企画
- ③信頼性シンポジウム発表
- ④2023年度チュートリアル内容をまとめ,学会誌への2025年度の投稿を検討します

3) 要素技術安全研究会(主査:川島 興氏)【第2種】

(1) 活動内容

産業機械, 自動車, 住宅など幅広い分野に広がった機能安全に関連する規格, 法規制及び技術動向を捉え, 適切な機能安全の適用に資するための活動を行います. とくに, IEC 61508, 及び安全関連制御に機能安全を適用する関連規格(総合信頼性, 産業機械, ロボット, 自動車, AI 等)の調査を通じて, 機能安全規格の理解を深めるとともに課題の顕在化を目指します.

(2) 計画

年5回(6月, 8月, 11月, 1月, 3月)の開催を予定しています.

(3) 発表

- ・秋季信頼性シンポジウムで活動報告
- ・電子情報通信学会信頼性研究会発表 12月

4) 故障物性研究会(主査:佐藤博之氏)【第2種】

(1) 活動内容

会員と研究会の成長が継続的に進むよう研究会の方向付けを適切に行い, 更に大きな成果につなげることを目指します, そのために, 特に下記について重点的に実施します.

- ・会員の意思を尊重しながら, 信頼性・安全性の現場で起きている故障/事故のメカニズム・原因・対策に関する情報共有や議論を通して故障メカニズムの究明を行います
- ・未然防止に向けた信頼性/安全性評価法の情報共有・議論を行い, 体系化を目指します
- ・成果を公開し, 学会/研究会の増強に努めます
- ・上記を通じ, 会員のスキル向上, 会員の出身組織のみならず, 社会貢献を目指します

(2) 計画

年6回(4月, 6月, 8月, 10月, 12月, 2月)の開催を予定しています, 例年と同様に会場とオンラインのハイブリッド開催です.

実行委員会(web)で研究会プログラムや課題と対応策を検討します.

「コンデンサ研究グループ」に引き続き, 新たな研究グループの立ち上げを進めます.

コロナ禍以降活動が減っていた外部講師の招聘や, 有用書籍の活用などを検討します.

(3) 発表

- ・春季・秋季信頼性シンポジウム
- ・信頼性フォーラム

5) 半導体デバイス故障解析研究会(主査:二川清氏)【第2種】

(1) 活動内容

半導体デバイスの故障解析技術の分野において活動を行っている技術者・研究者に限定して, 高度な技術・研究レベルでの, 密度の高い討論を行います.

- ・研究員が研究中の最新技術の紹介
- ・研究会以外からの招待講演
- ・他の研究会, 国際会議, 国内会議, 論文などで発表された研究・技術

などをベースに, 活発な, 忌憚のない議論を行い, 研究員相互のレベルアップを図りその結果とし

て日本の半導体デバイスの故障解析技術のレベル向上に寄与することを目的とします。

(2) 計画

年 2 回の開催を予定しています，日時・場所・発表者は未定です。

(3) 発表

研究成果の発表予定はありません。

7. 表彰委員会

本年度も表彰委員会を開催し，以下を審議します。

- 1) 2022 年 1 月号から 2024 年 11 月号の間に学会誌「信頼性」に掲載された論文の中から，高木賞を選定するための審議を実施します。
- 2) 第 32 回春季信頼性シンポジウムにおける発表論文の中から，優秀賞 1 件と若手奨励賞 1 名を選定するための審議を行います。
- 3) 第 37 回秋季信頼性シンポジウムにおける発表論文の中から，優秀賞 1 件と若手奨励賞 1 名を選定するための審議を行います。
- 4) 2024 年 1 月号から 2024 年 11 月号の間に「信頼性」に掲載された論文以外の記事の中から，優秀記事コラム賞を選定するための審議を実施します。
- 5) 国際交流助成金：2024 年度後期に海外で開催される国際会議において講演するための渡航費用等を補助するための国際交流助成金として，応募者の中から助成対象者を決定するための審議を実施します。

8. 関西支部

今年度は，コロナ流行前の活発な活動の再現を目指して，取り組んでまいります。

- 1) 第 1 回見学会 2024 年 11 月
- 2) 信頼性フォーラム 2025 年 3 月（本部と共催）
- 3) 第 1 回講演会 2024 年 4 月 19 日
- 4) 第 2 回講演会 2024 年 9 月
- 5) 第 3 回講演会 2025 年 1 月

支部信頼性フォーラムは，信頼性試験研究会活動と連携して，開催を進めていきます。なお，講演会，およびフォーラムは会場集合型と Microsoft Teams によるオンライン形式の併用として全国からの参加者を募ると同時に，参加者との間で活発な議論の場となるように努めて参ります。

9. 本年度の主な事業の予定（再掲）

開催日や内容については，学会誌・信頼性ニュース及びホームページに掲載します。

- 1) 第 46 回年次総会 2024 年 6 月 18 日（火）
- 2) 第 32 回春季信頼性シンポジウム 2024 年 6 月 18 日（火）
- 3) 第 37 回秋季信頼性シンポジウム 2024 年 日程未定
- 4) フォーラム 2 回，見学会 2 回
- 5) 各研究会
- 6) 関西支部行事